
夏恋

春日 そら

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏恋

【Nコード】

N0170C

【作者名】

春日 そら

【あらすじ】

最近転校してきた夢乃飛鳥（ ）は顔が可愛い&美人でモツテモテでも本人は恋愛など興味は無し…。それは自分の容姿狙いの奴が多いから。遊びで恋愛してもくだらない。そう思う飛鳥。でも転校してからあの変な男の目を付けられて!？

1・好きって何？

「つ……つつ付き合ってください!!」

ほらまた来た。告白。

私、夢乃 飛鳥。

つい最近この辺に転校してきた。いわゆる転校生ってやつかな？

「無理。だいたい何？ 皆さ。顔や性格がよければいいわけ？」

「そ……そんなことないっ」

「じゃあ……さ。なんなわけ？」

「いや……それは……」

「返す言葉ないなら諦めてちょーだい。マジ引くから」

皆私を「女番長」という。

なぜかって……？

それは……ま。あとでわかるわよ。あとで……

「う……うああんっ」

何故いきなり泣く。意味不明……。

そして男はその場をあとにし、泣きながらどっか行ってしまった。

なんでふっただけで泣くの？

自分がOKもらえらとでもおもってたのかな？

それ、絶対おかしい。なんて言うっけ……自信過剰？だっけ？

私はあの変人男に構ってるのに手いっぱいだし。

「夢乃さん」

ほら出た。あの変人男が……。

「あんま近寄らないでくれる？ 暑苦しい」

「冷たいなあゝもうゝ」

微妙に距離縮めてんじゃねーよ!!

バキッ

「ゲヘッ!!」

私は変人男を思いつきり力をたくわえた拳で頬をパンチ。

「もう近寄るな。変態」

マジわかんない。私なんかに構って楽しいのだろうか……。

もちろん私は疲れる。この変人男の名前は桐原 涼だったような……。

…。

席も隣。教科書忘れたり消しゴム忘れたり……。マジやめてほしい。

「だーから。返事考えてくれた？」

「なんの？」

「告白に決まってるじゃん」

「……は？ 誰が誰に告白したんだハゲ」

「俺が。夢乃さんに」

「嘘付け。私は告白なんかされてない。されたとしてもおまえどうせ本気じゃねーだろうし。」

そうそう。男にとって恋愛は遊びでしかない。

私は恋愛は大事だと思う。でも恋愛って何？

誰かを好きになるってどうゆうことなの？そうゆう経験あんまないからよくわかんない。

告白なら星の数された。でも自分から告白したことなんてない。

恋までいかないのだ。気持ちが……。

「頭いいな」とか「カッコいい」とかは思う。でもそれから上はない。

好きってどうゆうことなのかな？

いつか私も体験できるのかな？

不安でいっぱいなのこの学校。大体皆、体目当てや容姿が可愛いからなどの些細な事で告白する。

それを繰り返したら、結局運命の相手とやらには逢えてないのではないのだろうか？

本当に……好きって感情はどうゆつものなのかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0170c/>

夏恋

2011年1月4日15時34分発行